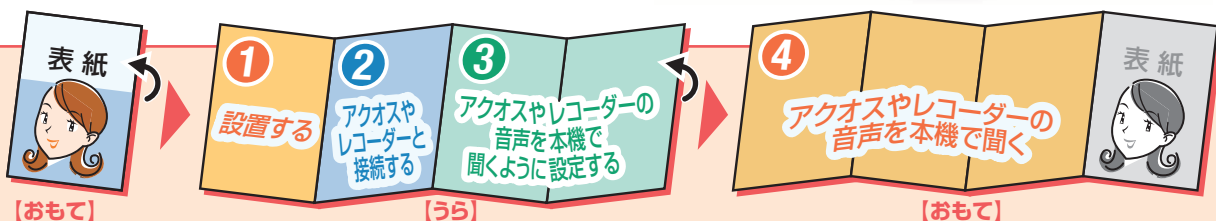
1ビットシアターラックシステム
形名
エイ　エヌ　　エイ　シー　ディー

AN-ACD2

かんたん!!ガイド掲載内容

【おもて】

【うら】

【おもて】

本書は、設置およびアクオスに連動して動作するファミリンク機能を使うための接続・設定・操作方法をまとめたガイドです。

ファミリンク機能*1とは…

- **本機と HDMI CEC (Consumer Electronics Control)対応の当社製アクオスやデジタルハイビジョンレコーダー、ブルーレイディスクレコーダーなどの機器を接続することで、これらの機器が相互に連携し動作する機能です。**
- **アクオスのリモコン(またはハイビジョンレコーダーのファミリンク対応リモコン)をアクオスに向けて操作することにより、アクオスの動作に連動して本機の電源「入/切」や音量調整、消音、音声切換などを行うことができます。**

ただし、アクオスのファミリンク機能選択で、「AQUOSオーディオで聞く」*2モードを選んでいない場合は、これらの機能は働きません。(本機の電源「切」は、設定に関係なく連動します。)

＊1 製品によっては、ファミリンク機能の名称ではなく、HDMIコントロール機能という名称を使用しているものもあります。

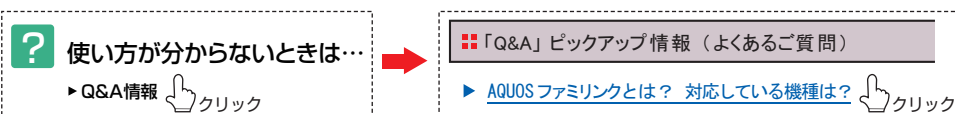
＊2 製品によっては、「AQUOSオーディオで聞く」ではなく、「AQUOSサラウンドで聞く」という名称を使用しているものもあります。

また、新製品などのファミリンク対応製品と組み合わせてご使用の場合は、操作方法や表示内容が本書に記載されている内容と異なる場合があります。

ファミリンク対応機種については、DVD/BDサポートステーションのQ&A情報をご覧ください。

DVD/BDサポートステーション　http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/index.html

Q&A情報ページの、「「Q&A」ピックアップ情報(よくあるご質問)」で「AQUOSファミリンクとは?対応している機種は?」をクリックすると、ファミリンク対応機種を確認できます。

「Q&A」ピックアップ情報（よくあるご質問）
▶ AQUOS ファミリンクとは？　対応している機種は？　クリック

故障かな?と思ったら…　詳細は取扱説明書をご覧ください。

使い方や修理のご相談など

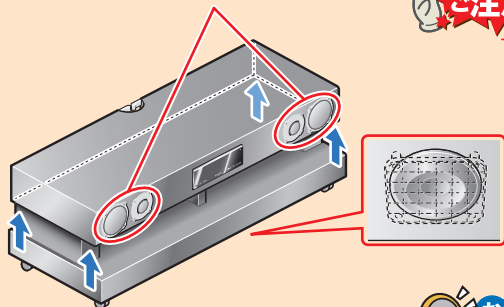
【お客様相談センター】
0120 - 001 - 251

受付時間	
月曜～土曜	9:00～20:00
日曜・祝日	9:00～17:00
	〈年末年始を除く〉

ご質問やメールでのお問い合わせは【サポートページ】
http://www.sharp.co.jp/support/

※詳細は、取扱説明書の裏表紙をご覧ください。

Printed in Malaysia
TINSJA250WJZZ
07P12-MA-NM

1 設置する

ご注意

「持ち運びする」ときは…

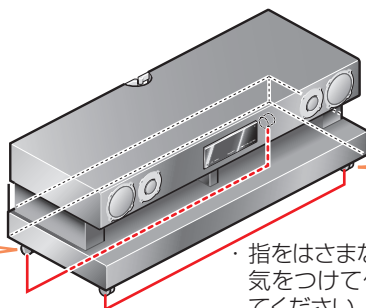
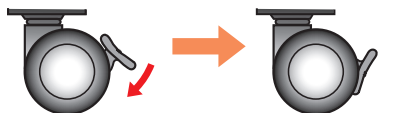
- 本機は非常に重いので、持ち運びなどの作業は必ず2人以上で行ってください。
- 前面のスピーカーネット部を強く押したり、触らないようにしてください。持ち運びするときは、天板部下側の↑マークの部分を持ってください。
- 床などにキズをつけないよう十分に気をつけてください。
- 底面中央部には、サブウーハーと重低音を拡散させるための部品（ディフューザー）が付いています。物にぶつけて破損させないよう、十分気をつけてください。

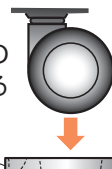
お知らせ

- 本機には、キャスターがついています。

①本機を部屋に設置する

- テレビやレコーダーなどを設置したり、接続したりするときの作業スペースを確保のうえ、本機を設置してください。

①キャスター（後側 2 ヶ所）のストッパーを下ろしてキャスターの車輪を固定する

・指をはさまないように、気をつけて作業を行ってください。

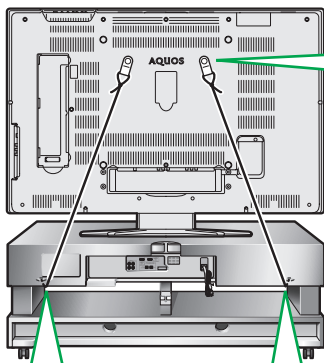
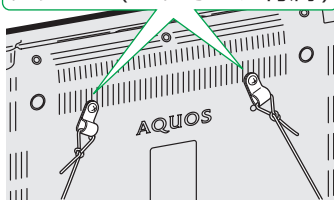
②キャスター受皿をキャスター（前側 2 ヶ所）の下に敷く

本機を壁に寄せて設置する場合には、あらかじめ以下の作業を行ってください。

1. テレビやレコーダーなどと接続するケーブル類を本機に接続しておいてください。
2. テレビやレコーダーなどを設置するために必要なケーブル類や転倒防止用のひもなどを配置しておいてください。
   本機や接続した機器の電源コードやケーブル類を壁などに挟み込まないようにご注意ください。

②テレビやレコーダーなどを設置する

本機にテレビを設置する際は本機の中央に載せ、安全のためテレビの転倒防止策の実施をお願いします。

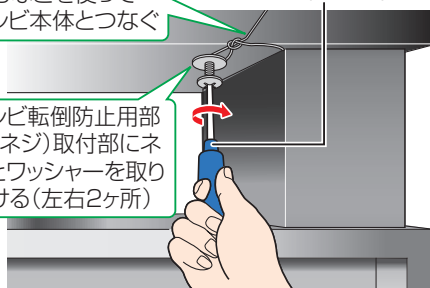
天板耐荷重:約80kg

棚板耐荷重:約20kg

クランプ (アクオスに付属)

テレビ側　アクオスの例

- 詳しくはご使用のテレビの取扱説明書をよくご覧のうえ実施ください。

本機側

本機背面の天板部下側にテレビ転倒防止用部品（ネジ）取付部が左右２ヶ所あります。

この取付部に付属のネジとワッシャーを取り付け、市販の丈夫なひもなどを使って、テレビ本体とつないでください。

- この転倒防止策は一例で、テレビを前方向に倒れにくくするものです。後方向に対しては効果がありません。

2 ファミリンク機能を使うために アクオスやレコーダーと接続する

接続するときは、それぞれの機器の電源コードを抜いてから行ってください。
また、それぞれの機器の取扱説明書もよくご覧ください。

3

ファミリンク機能を使うために

(アクオスのリモコンを使います)

アクオスやレコーダーの音声を本機で聞くように設定する

アクオスに向けて操作します。

アクオスのリモコン(例)

・アクオスのリモコンは本機の付属品ではありません。
・アクオスのリモコンは機種によって仕様が異なります。

デジタル放送の番組に合わせて本機のサウンドモードが自動で切り換わるように設定する

• ジャンル情報の詳細につきましては、おもて面 ジャンル連動設定 をご覧ください。

1 メニュー を押す

• メニュー画面が表示されます。

2 で「機能切換」−「ファミリンク設定」を選び、決定 を押す

アクオスの画面例

3 で「ジャンル連動設定」を選び、決定 を押す

アクオスの画面例

4 で「する」を選び、決定 を押す

アクオスの画面例

メニュー [機能切換 … ファミリンク設定]
連動起動設定
録画機器選択
ジャンル連動設定
AQUOSオーディオのサウンドモードを番組情報に連動させますか?
する しない

本機の表示部

5 メニュー を押す

• メニュー画面が消えます。

ジャンル連動設定を解除するには…

上記の手順4で「しない」を選び、決定 を押します。

デジタル放送のサラウンド番組を臨場感のある音声で聞けるように設定する

1 メニュー を押す

• メニュー画面が表示されます。

2 で「デジタル設定」−「デジタル音声設定」を選び、決定 を押す

アクオスの画面例

3 で「AAC」を選び、決定 を押す

アクオスの画面例

4 メニュー を押す

• メニュー画面が消えます。

お知らせ

「PCM」に設定した状態では…

・音声多重放送の受信中に、アクオスのリモコンでアクオスに向けて音声切換の操作をしたとき、アクオスの画面には「主」や「副」の切換表示がされて、本機で聞いている音声も同時に切り換わりますが、本機には何の切換表示もされません。
このとき、本機で同時に切換表示をさせるには「AAC」に設定してください。

アクオスやレコーダーの音声を本機で聞くように設定する

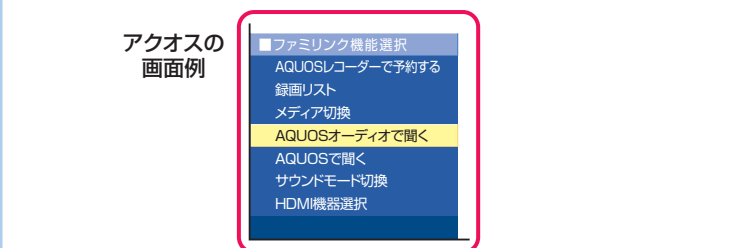
1 電源 を押す

アクオスの「ファミリンク機能選択」画面で「AQUOSサラウンドで聞く」の表示がでる製品をご使用の場合は、取扱説明書33ページの説明に従って設定してください。

2 リモコンフタ内の 機能選択 を押す

• ファミリンク機能選択画面が表示されます。

3 で「AQUOSオーディオで聞く」を選び、決定 を押す

アクオスの画面例

・再度、アクオスで音声を聞く場合は「AQUOSで聞く」を選んで、[決定]を押してください。

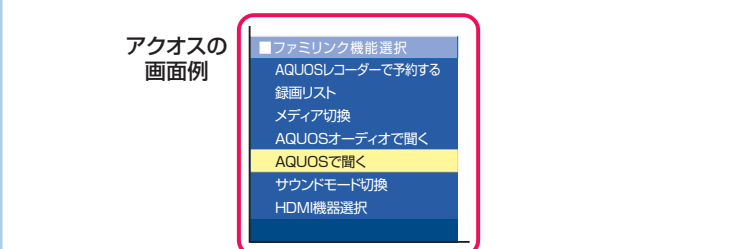
4 リモコンフタ内の 機能選択 を押す

• ファミリンク機能選択画面が消えます。
• 画面が消えているときに押すと、画面が表示されますので、もう一度押して画面を消してください。

・ファミリンク動作時(「AQUOSオーディオで聞く」モードの時)は、アクオスと本機の両方から同時に音を出すことはできません。

アクオスから音声を聞くように戻すには…

上記の手順3で「AQUOSで聞く」を選び、決定 を押します。

アクオスの画面例

・再度、本機で音声を聞く場合は「AQUOSオーディオで聞く」を選んで、[決定]を押してください。

・本機は消音モード状態になります。

4 ファミリンク機能を使って アクオスやレコーダーの音声を本機で聞く （アクオスのリモコンを使います）

アクオスに向けて操作します。

・アクオスのリモコンは本機の付属品ではありません。
・アクオスのリモコンは機種によって仕様が異なります。

本機から音声がでるように、アクオスを設定してください。
（設定方法については、うら面❸の「アクオスやレコーダーの音声を本機で聞くように設定する」をご覧ください。）

アクオスの音声を本機で聞く

1 電源 を押す

- アクオスに連動して本機の電源が自動で入ります。
- 本機の入力切換が自動で「入力1」になります。
- デジタル放送などのジャンル情報があるテレビ番組を本機で聞いているとき、番組に合ったサウンドモードに自動的に切り換わります。
（うら面❸の「ジャンル連動設定」を「する」に設定している場合）

電源ランプ 緑色点灯

サウンドモード表示
表示例）ジャンル情報:ニュース

2 音量 ＋大きくなる／－小さくなる を押して、音量を調整する

- アクオスと本機に音量レベルが表示されます。

約3秒表示

お知らせ

- 入力2〜4に接続した他の機器の音声を聞きたいときは、本機の「入力切換」ボタンで聞きたい機器の入力を選んでください。
本機の電源「入/切」や音量調整、消音などはアクオスに連動し操作できます。
- 他の機器の音声を聞いていた状態で電源を切り、アクオスの電源を入れるとアクオスに連動し入力が切り換わります。
- HDMIに接続したファミリンク対応レコーダーを再生すると、本機とアクオスの入力がレコーダー側に自動で切り換わります。
（録画リストやスタートメニュー、番組表などの操作でも自動で切り換わります。）

聞き終えたら

電源 を押して、電源を切る

- アクオスに連動して本機の電源も自動で切れます。

電源ランプ 赤色点灯

デジタル放送のテレビ番組ジャンル情報

デジタル放送などのジャンル情報があるテレビ番組を本機で聞いているとき、番組に合ったサウンドモードに自動的に切り換わります。
（設定方法については、うら面❸の「ジャンル連動設定」をご覧ください。）

ジャンル情報（電子番組表）	放送の信号	サウンドモード
ジャンル情報がある番組（デジタル放送など）		
情報／ワイドショー／ドラマ／バラエティ／ドキュメンタリー／趣味／教育／福祉	ステレオ／マルチチャンネル	スタンダード *
映画	ステレオ／マルチチャンネル	シネマ
ニュース／報道	ステレオ／マルチチャンネル	ニュース
スポーツ	ステレオ／マルチチャンネル	スポーツ
音楽／劇場／公演	ステレオ／マルチチャンネル	ミュージック
アニメ／特撮	ステレオ	スタンダード
	マルチチャンネル	シネマ
ジャンル情報が認識できない場合		
地上アナログ放送やDVDソフトなど	ステレオの場合は、ワイド感拡張、マルチチャンネルの場合は、ドルビーバーチャルスピーカーに設定されています。お好みのサウンドモードでお聞きになりたいときは、手動で切り換えてください。	

＊デジタル放送でもジャンル情報がない場合は、サウンドモードがスタンダードになります。

・サウンドモードが切り換わるとき、一瞬音声が途切れます。

サウンドモードを手動で切り換えるには…

アクオスのリモコン（例）

フタを開けたところ

1 リモコンフタ内の 機能選択 を押す

- ファミリンク機能選択画面が表示されます。

アクオスの画面例

■ファミリンク機能選択
AQUOSレコーダーで予約する
録画リスト
メディア切換
AQUOSオーディオで聞く
AQUOSで聞く
サウンドモード切換
HDMI機器選択

2 ▲▼で「サウンドモード切換」を選び、決定 を押す

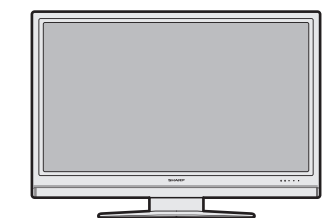
- 決定 を押すたびに次の順に切り換わります。

スタンダード→シネマ→ニュース→ミュージック→ジャズ→クラシック→ロック→カヨウキョク→ライブ→スポーツ→ナイト→スタンダード

3 リモコンフタ内の 機能選択 を押す

- ファミリンク機能選択画面が消えます。

アクオスに向けて操作します。

フタを開けたところ

アクオスのリモコン（例）

一時的に音を消すには（消音モード）

消音 を押す

約3秒点滅

消音モードを解除するには

- もう一度、消音 を押す　または 音量＋ を押す。

お知らせ

アクオスと本機の両方から音を出したい場合は…

- アクオスから音が出ている状態で、本機のリモコンを本機に向けて「消音」ボタンを押してください。
一時的に本機の消音モード状態が解除され、アクオスと本機の両方から音が出ます。
（電源の「入」や音量調整などのファミリンク連動動作はしなくなります。）

音声多重放送の音声を切り換えるには

リモコンフタ内の 音声切換 を押す

- 音声切換 を押すたびに次の順に切り換わります。

主（主音声）→副（副音声）→主／副（主音声＋副音声）→主（主音声）

レコーダーの音声多重放送を聞くときは…

- レコーダーのリモコンをレコーダーに向けて「音声切換」の操作をしてください。
レコーダーのデジタル音声出力の設定が「AAC」のときは、切り換わらないことがあります。
その場合は、「PCM」に設定してください。
- 音声出力設定が「AAC」の場合は、本機のリモコンを本機に向けて「音声切換」の操作をしても同様に切り換えできます。